

ハダニ類 (spider mite)

Tetranychus spp.



ハダニ類により加害されたプリムラ・ポリアンサの葉

発生生態

花き類に寄生するハダニ類には、主としてナミハダニとカンザワハダニがいます。発生初期は、葉に針で突いたような色抜けが表れます。被害が進むと、色抜け症状が目立ち、肥料不足のような症状にも見えます。多発すると葉全体の色が黄白色になり、葉の裏面はほこりっぽくなります。ハダニ類は厳寒期を除いて、ほぼ周年発生します。気温が高いと増殖が速く、2週間前後で、卵から成虫になり、短期間で密度が高くなります。また、雨が少ないと発生は助長されます。このため、軒下やハウスのように直接雨が降らない所では、多発しやすくなります。

防除対策

主に葉裏に生息し、乾燥条件で発生しやすく、梅雨明け後急激に増殖するので、梅雨明け後の防除が大切です。

農薬による防除は、抵抗性を獲得しやすいので、同一系統の薬の使用を避けることが重要です。